

リレー小説の悪い例

蕎麦餛飩

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

自己投影というか、事故投影気味なチート化した理想の自分がアニメのキャラ達にチャホヤされる作品が好きな作者達がりレー小説をしたらどうなるか？

※原作を取り敢えず魔法少女リリカルなのはとしましたが、特にリリカルなのはである必要はありません。(…という仕様です)

目次

ハッピーエンドは奪い合い

1

ハッピーエンドは奪い合い

A・B・C・D・Eという5人のネット二次小説家が出た。

彼等はリアルでは知り合いでも何でもないので、小説投稿サイト『ハメル』で知り合ったのだ。

このAという男がリレー小説をこのメンバーでやろうと発案した。事の始まりはハメルでリレー小説が書ける様な『承認した他作者からの編集の許可』機能が試験実装された事による。

グループに入った者が自由に続きを書く事が出来る。但し、後から各話の順番を変える事が出来ない事と、投稿者以外は文章を編集できないという制約があった。

ついでに言えば、誰か一人が完結設定にすれば、それ以上誰も自分の作品も修正できなくなるという仕様もあった。

Aは他の全員にハメルのメール機能で連絡した。

A↓ALL「俺らでリレー小説やりませんか。お題は『リリカルなのは』です」

それにB・C・Dは直ぐに乗った。

そして暫くしてEも余裕があれば参加すると返信した。

先ずはAが始まりを作った。

第一話

栄太という少年は高町なのはの幼馴染である。

彼は転生者で Fate のギルガメッシュの宝具を神に貰い

く

のつけから随分悪い意味でのテンプレートな始まりであった。

しかも作者のペンネームと主人公の名前が微妙に被っている上に、文章量は千文字程度。

その上、何故か主人公は高スペックのイケメンで微笑むだけなのはを含むクラスメイトが見惚れるという大盤振る舞いな設定だった。

して、Bのオリキャラを復活させた。

それが更にリレー小説用の掲示板を炎上させることとなった。

それに付き合ってられなくなったのかDがリレー企画から退場したが、ABCの三人は気にせず罵り合いながら、

自分の作品で、オリキャラが実は死んでいなかった、とか、復活したという展開にしながら他の作者のオリキャラを殺しまわっていた。

そしてその度に登場するヒロインたちは惚れる男を変えていく、何とも不思議な世界になっていた。

そんな中、遂にEが書き上げた文章を投稿した。

〳〳第百話

大きい方を漏らした茶色いパンツのおっさんが栄太のブツを噛み砕いて、ビーに己のパンツを被せて、椎を誘拐してホモになるまで教育した。

三人は汚れ役の女芸人になるかホモになるかを迷ってホモへの道を踏み出した。

それによりなのはもフェイトも他の女の子もみんなおっさんになって、激しいホモの舞を繰り広げた。

すね毛は天を突き、ケツ毛はトイレトペーパーにからまるどころか、ペーパーを丸ごとからめとる様な、身長3mの巨漢へと変わった。

こんなホモならトイレはつまらないし、ワキガでも大丈夫だきつと。

ジュエルシードをおっさんがケツに突っ込んだせいでこうなってしまうのだ。

だから今日もうどんが美味しい。勿論カレーうどんだ。但しうどんは尻から出る。完!!”

Eが作品の完成を決定する『完結』の設定を押ししたことにより、これにてリレー小説は終わった。